

子どもたちにとって知的に面白い社会科授業を

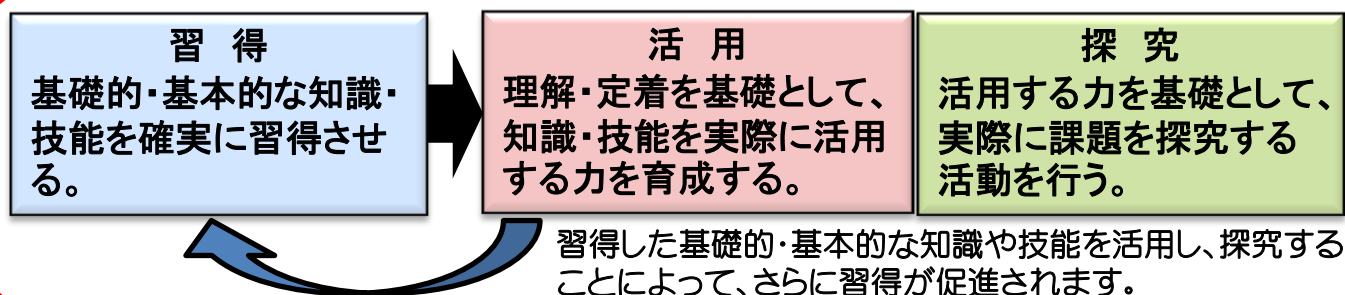
～「確かな学力」を育成する社会科授業をめざして～

ポイント1

「習得・活用・探究」を意図した単元の指導計画を立てる。

児童生徒に社会的な見方や考え方を育成するために、「**習得・活用・探究**」を意図した指導計画をたて、**教えることと考えさせることを明確に**することが大切です。

【1単元における指導計画の概要】



ポイント2

「問題解決的な学習」を中心とした学習過程を工夫する。

(1単位時間の授業展開のポイント例)

	授業で心がけたいこと
導入	習得の確認 ○ 小テスト等を活用して、前時の基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得を確認する手立てを工夫する。
	関心・意欲を高める工夫 ○ 実物教材等を効果的に提示し、「なぜ？」と疑問をもたせるような導入を行う。
展開	追究したくなる学習問題 ○ すぐには答えが導き出せないような、学習意欲を高める学習問題を設定する。 ※ 「～しよう」ではなく「なぜ～だろうか」が基本！
	作業的、体験的な学習 ○ 観察や調査、資料の活用にかかわる技能を系統的に指導する。
	言語活動の充実 ○ 習得した基礎的・基本的な知識や技能を活用し、「説明」、「論述」、「解釈」、「判断」、「読み取り」、「表現」などの言語活動を行う。
	板書の構造化(児童生徒の学び) ○ 1単位時間の板書から、その授業の構造が見えるようにする。
終末	学習のまとめ ○ 必ず、学習問題の解決につながるまとめを行う。
	習得の確認 ○ 基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得を確認する手立てを工夫する。

ポイント3

「基礎的・基本的な知識・概念や技能」の習得を図る。

「思考力・判断力・表現力」を育成するためには、**習得した基礎的・基本的な知識・概念や技能を活用**することが大切です。そのことが「学び」の質の向上につながります。

小学校

- ◎47都道府県の名称と位置(地図帳の活用、白地図での作業)
- ◎世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置(地球儀を積極的に活用する学習)
- ◎「観察や調査」、「資料の活用」に関する技能の習得

中学校

- ◎世界と日本の地域構成、世界の地理的認識、日本の地域的特色を動的にとらえる学習(地理的分野)
- ◎球面上の位置関係、地理情報の活用、地図の活用に関する技能(地理的分野)
- ◎学習した内容を比較し関連付け、各時代の特色をとらえる学習(歴史的分野)
- ◎見方や考え方の基礎となる、対立と合意、効率と公正についての理解(公民的分野)
- ◎政治、経済、国際社会に関する諸事象を通して、現代社会をとらえるための見方や考え方について理解する学習(公民的分野)

高等学校

- ◎地図、年表などを活用し、世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解する学習(世界史)
- ◎様々な資料の活用を重視し、地理的条件と世界の歴史とを関連させながら、主題を設定して我が国の歴史を総合的に理解する学習(日本史)
- ◎世界の自然環境、資源・エネルギー、人口、産業などに関する事象の考察を通して、地理的な見方や考え方を培う学習(地理)

ポイント4

「言語活動」の場면을意図的に取り込む。

「説明」、「論述」、「解釈」、「判断」、「読み取り」、「表現」といった「言語活動」の手立てを意図的に位置付けた授業展開を行い、「思考力・判断力・表現力」を育成することが大切です。

小学校

- ◎調べたことをしっかりと記録し、観点を決めてそれらをまとめ、そこから考えられることを相手にわかるように表現する。(第3、4学年)
- ◎調べたことや社会事象の意味について考えたことを、根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明する。(第5、6学年)

中学校

- ◎地図の読図や作図、地図や資料を活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換するなどの学習活動を行う。(地理的分野)
- ◎学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動などを通して、歴史的事象について考察・判断し、自分の言葉で表現する学習活動を行う。(歴史的分野)
- ◎習得した知識、概念や技能を活用して、社会的事象について考えたことを説明したり、自分の考えをまとめて論述したり、議論などを通して考えを深めたりする学習活動を行う。(公民的分野)

高等学校

- ◎現代社会の諸課題を取り上げて、議論などを通して自分の考えをまとめたり、説明したり、論述したりする学習活動を行う。(現代社会)
- ◎先哲の考えを取り上げて、諸価値についての理解と思索を深めさせると同時に、課題追究的な学習や討論を行うことで、自己の生き方を探求できるようにする。(倫理)

ポイント5

「社会参画、伝統・文化に関する学習」を一層重視する。

地域社会の発展に貢献し、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者としての実感を具体的な授業場面で高めさせたり、様々な伝統文化の学習を通して、日本人としての自覚を高めさせたりする学習を、小中高で系統的に取り入れる必要があります。

- ◎よりよい社会の形成への参画にかかわる学習内容
- ◎我が国の伝統・文化を一層重視した学習内容